

ェニックマウスの保存システムの確立。文部省総合研究A「実験動物の管理システム」研究班第1回研究成果報告会, 1989, 8, 金沢

- 2) 東條英昭：遺伝子工学の畜産学領域への応用。新畜産技術企画会議（日本家畜改良事業団），1989, 11, 東京
- 3) Tojo, H, Kubo, M. and Fukumaki, S: Transgenic mouse carrying a foreign gene on its Y-chromosome, 昭和63年度科学研究費補助金（総合研究A）。家畜・家禽の形質転換動物作出のための遺伝子導入技術の開発と遺伝子のクローニング，研究成果報告書，56-60, 1989.

実験実習機器センター

センター長(兼任)	谷 村 愚 徳
助 教 授	佐々木 和 男
文部技官	森 腰 正 弘
文部技官	川 原 昌 彦
文部技官	吉 井 亮 一
文部技官	石 黒 義 久
文部技官	小 川 誠

◆ 著 書

- 1) 小野武年, 佐々木和男：報酬系, 「新生理科学大系 11 行動の生理学」久保田競, 小野武年編, 160-208, 医学書院, 東京, 1989.

◆ 原 著

- 1) Sasaki K., Bower J.M. and Llinas R.: Multiple Purkinje cell recording in rodent cerebellar cortex. Eur. J. Neurosci. 1 : 572-586, 1989.
- 2) Llinas R. and Sasaki K. : The functional organization of the olivo-cerebellar system as examined by multiple Purkinje cell recordings. Eur. J. Neurosci. 1 : 587-602, 1989.
- 3) 佐々木和男, Llinas R.: ラット下オリーブ核ニューロンの求心性入力に対する反応様式, 信学技報 89-19 : 31-35, 1989.

◆ 学会報告

- 1) 森腰正弘：漢方方剤，製剤中の生薬生分のNM R分析—桂枝，芍薬について，第11回生理学技術研究会, 1989, 2, 岡崎
- 2) 松本欣三, 蔡兵, 佐々木和男, 坂野数仁, 渡辺裕司：マウス運動量の測定及び解析のための新しいシステム, 第62回日本薬理学会総会, 1989, 3, 京都
- 3) 古谷田裕久, 呉繁夫, 久米晃啓, 榊原年宏, 石

黒義久, 松井千尋, 平賀紘一：ヒトのグリシン開裂酵素系の2種の構成酵素 cDNA の構造解析, 第7回日本生化学会北陸支部会, 1989, 5, 金沢

- 4) 川原昌彦：ホタルイカ発光器の電子顕微鏡による観察, 医学・生物学電子顕微鏡技術研究会第5回学術講演会, 1989, 7, 名古屋
- 5) Oomura Y., Hanai K., Sasaki K., Suzuki K. and Muto T.: Acidic fibroblast growth factor and neuronal factors affecting feeding behavior. 31st International Congress of Physiological Science, 1989, 7, Helsinki
- 6) 大村裕, 佐々木和男, 花井一光, 木村宏：線維芽細胞成長因子の神経機能制御, 第7回脳腸管ホルモン学会特別講演, 1989, 9, 静岡
- 7) 佐々木和男, 須田浩守, 渡辺裕司：黒質線条体ドーパミン系に対する脚内核—手綱核経路の抑制系, 第13回神経科学学術集会, 1989, 10, 新潟
- 8) 大村裕, 佐々木和男, 鈴木健治, 武藤正, 花井一光, 遠山育夫, 木村宏：酸性型線維芽細胞成長因子の摂食調節作用, 第13回神経科学学術集会, 1989, 10, 新潟
- 9) 榊原年宏, 古谷田裕久, 石黒義久, 平賀紘一：ヒトのグリシン脱炭酸酵素遺伝子の部分構造, 第62回日本生化学会大会, 1989, 11, 京都
- 10) 古谷田裕久, 榊原年宏, 石黒義久, 平賀紘一：ヒトH—蛋白遺伝子の構造解析. 第62回日本生化学会大会, 1989, 11, 京都
- 11) 松井千尋, 石黒義久, 平賀紘一：鶏の発生時におけるグリシン開裂系の発現調節. 第62回日本生化学会大会, 1989, 11, 京都
- 12) 大村裕, 佐々木和男, 鈴木健治, 武藤正, 花井一光, 木村宏, 遠山育夫：線維芽細胞成長因子と摂食調節, 第10回日本肥満学会大会, 1989, 11, 東京

放射性同位元素実験施設

施設長(兼任)	本 田 昂
技 官	庄 司 美 樹
技 官	前 田 正 敏
技 官	朴 木 宏
技 官	二本松 博 子

◆ 原 著

- 1) 山下 巖, 田沢賢次, 笠木徳三, 増山喜一, 黒木嘉人, 山本克弥, 勝山新弥, 前田正敏, 川腰利之, 本田 昂, 藤巻雅夫：ラット AOM 誘発大腸

腫瘍発現に対する OK-432-MCT-Emulsion 経口投与の抑制効果—脾臓、腸間膜リンパ節、腹腔浸出細胞の NK 活性の増強—。Biotherapy 3(1): 369-372, 1989.

- 2) 山下 巖, 田沢賢次, 笠木徳三, 石沢 伸, 増山喜一, 山本克弥, 新井英樹, 竹森 繁, 勝山新弥, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 川腰利之, 前田正敏, 本田 昂: アゾキシメタン誘発ラット大腸腫瘍発現に対する経直腸的インドメタシン投与の抑制効果—NK 活性の増強および経口投与との比較。日本大腸肛門病学会誌 42: 346-351, 1989.
- 3) 山下 巖, 川腰利之, 田沢賢次, 増山喜一, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 落合 宏, 藤巻雅夫: レンチナン包埋リポゾームの肝転移抑制効果—予防的投与の有用性—。Biotherapy 3 (4): 851-855, 1989.
- 4) 笠木徳三, 田沢賢次, 増山喜一, 山下 巖, 石沢 伸, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 消化器癌の肝転移再発に対する予防法の研究。日本消化器外科学会雑誌 22(10): 2364-2370, 1989.

◆ 総 説

- 1) 藤巻雅夫, 笠木徳三, 田沢賢次, 前田正敏, 本田 昂: BRM (OK-432 medium chain triglyceride-emulsion) の経口投与と肝転移抑制。Drug Delivery System 4 (4), 276-280, 1989.

◆ 学会報告

- 1) 前田正敏, 山下 巖, 吉田真佐人, 田沢賢次, 藤巻雅夫, 本田 昂: MFGM (牛乳脂肪球皮膜) を用いた DDS 研究: Insulin 含有 MFGM の経腸管内投与による糖尿病ラットの血糖値に及ぼす影響。第 5 回日本 DDS 学会, 1989, 7, 東京
- 2) 田沢賢次, 竹森 繁, 長江英夫, 山下 巖, 加藤 博, 笠木徳三, 前田正敏, 本田 昂, 藤巻雅夫: Hyperthermia における DDS の研究(1) 特に Dextran Magnetite (DDM) を用いる Inductive Heating について。第 5 回日本 DDS 学会, 1989, 7, 東京
- 3) 笠木徳三, 田沢賢次, 勝山新弥, 山本克弥, 竹森 繁, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 肝転移に対する予防的治療(6)-OK-432 門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態的観察。第 48 回日本癌学会, 1989, 10, 名古屋
- 4) 笠木徳三, 田沢賢次, 勝山新弥, 山本克弥, 竹森 繁, 新井英樹, 鈴木康将, 藤巻雅夫, 前田正敏, 本田 昂: 肝転移再発に対する予防的治療—OK-432 門脈内投与による被移植腫瘍細胞の形態学的観察。第 44 回日本大腸肛門病学会, 1989, 11,